

飼育員は見たべあ！

のぼりべつ
クマ牧場通信
8号

2018年
2月1日

発行
のぼりべつ
クマ牧場
動物課

産室のクマに異変

彼女たちの身に

一体なにが…？

12月16日から、妊娠の可能性のあるメスグマの産室移動が順次行われました。室内は冬眠（冬ごもり）中の巣穴のようにたくさんの巣材が敷き詰められており、巣穴の環境に近い獣舎になっていきます。産室に入ってから、数日後には食欲が落ちる変化が見られました。なぜ食欲が低下したのでしょうか。

野生のヒグマは秋にしっかりと脂肪を蓄え、冬ごもり中は餌や水分を一切摂取することなく春を迎えます。そして妊娠をしているメスグマはその際に出産を行うのです。飼育下のクマたちにも四季のサイクルがあります。秋は食欲が増し、たくさん餌を食べ、逆に冬は食欲が落ちるので大幅に餌量が減ります。さらに産室のメスグマは、放飼

産室特集 2018

されているクマたちの4分の1ほどになります。その理由は、野生のヒグマの冬ごもりに近い状況だからと考えられています。

監視カメラ導入へ

試験的に計3台の監視カメラを産室内に設置しました。

過去にも産室内をカメラ撮影したことはありましたが、今回設置したカメラは室内の状況をより鮮明に映し出すことができます。これによりデリケートな状態の母グマにストレスを与えることなく、常に観察をすることができるようになります。映像を残すことにより、出産という貴重な瞬間も捕えることができるかもしれません。そして、まだわからない部分が多いエゾヒグマの出産の謎を解き明かすヒントが得られるかもしれません！
現在、産室にいるメスグマたちはとても良い状態で、し

つかりとワラで巣を作っています。新たな生命の誕生に期待を寄せながら、飼育員一同暖かく見守っていきたいと思います。



産室のメスグマ 写真上12月17日、産室1日目・モリコ、写真下1月14日、産室24日目・モリコ



産室の監視モニターと監視カメラ=写真上モニター、写真下カメラ1月14日

アヒルの競走

「障害物競走」開幕！

のぼりべつクマ牧場では「アヒルの競走」が随時開催されています。アヒルたちがゴールラインを目指して走り、1位を決めるとい

う催し物です。1月1日から新レースの障害物競走が始まりました。コース上に設置された3つの障害物に、惑わされずゴールができるのかが見所です。1日に数回行われるので、見られたらラッキーかもしれません！



賑わいを見せる障害物競走=1月9日、アヒルレース場

あなたの質問 疑問に答えたい！

園内のクマを観覧中、不意に疑問が浮かんだそのあなた。ゼッケンを着用したクママスターのお兄さん・お姉さんに話しかけてみてください！また、つなぎを着ている飼育員でもOK。あなたの「気になる」を「なるほど」にするお手伝いをさせていただきます！



目印は黄色い
ゼッケン！

電撃移籍！
第二牧場の合掌娘、卒業
 気づかないうちの後の

メスグマがいる第二牧場からエゾヒグマのテンテンが卒業をしました。普段はとても活発に行動をしているクマですが、まれに持病が再発してしまうため、対処のしやすいバックヤードの群れへの移動が検討されました。

そして移動先の群れとの顔合わせをしたところ相性が良かったため、12月22日に合流を果たしました。移動後も非常にリラクセスした面持ちで、新しい仲間との共同生活を送っています。

- 1989年 のぼりべつクマ牧場に生まれる
- 1998年 シンイチとの子グマ、ゴンを出産する
- 2001年 第二牧場デビュー
- 2002年 クマノスケとの子グマ、ベッキーを出産する
- 2006年 ユウタとの子グマ、テツロウ・カンタを出産する
- 2013年 レッドとの子グマ、シヨースケを出産する
- 2017年 第二牧場卒業



※クマの年齢を約3倍すると人間の年齢に換算できるといわれています。

のぼりべつクマ 劇場

妊娠したメスグマ

2月 産室

お腹もすかない！ 出産準備バッチリ

しかし、いつ生まれる？

いっ！ いたの？！

※実際にはありません

エブリデイ！
エンリッチメント

アヒル界限で空前の サッカーブーム？！

プラスチック製のカプセルには穴が開いており、中の餌を転がして出すしくみのフィーダー。くちばしで器用にドリブルをして餌を食べます。



くちばしでフィーダーを転がし餌ゲット=1月2日、アヒルレース場

雪遊びスペースが出現！

巨大なクマの雪像と記念撮影

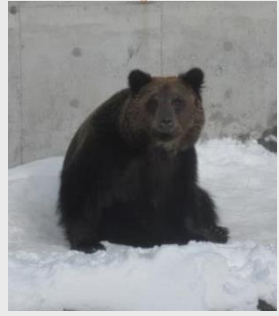
アヒルレース場前に雪遊びスペースが期間限定でオープンしました。園内で雪遊びができる場所を設けたのは初の試みとなり、雪の壁で囲われた雪遊びスペースには、スコップやバケツなども完備して

います。その隣にはクマの雪像(高さ220センチ、幅220センチ、奥行き270センチ)が建てられており、記念写真が撮れるスポットにもなっています。製作日数は1週間ほどで、設置に携わった飼育員は、ひとりでも多くの方に利用してもらえたら嬉しいと述べていました。



製作途中の雪像=1月13日、雪は候ま雪遊びスペースの開設予定期間天により変更になる場合があります、アヒルレース場前

まろんのくまきん



マロン♀ (5)

シヨコラ(ヒグマアトラクションを練習中のヒグマ)の姉妹であるマロン。現在は1つ年下の4歳グマたちとともに生活をしています。産まれたばかりのころは飼育員の手を焼いた、とてもやんちゃなクマというのはここだけの秘密。